

Life and Creation

アートのみはらし

Open

19 Mar Mon. — 25 Mar Sun., 2018

9:30 — 17:30 Admission Free Closed on Tuesday

Venue

*South Observation Deck of
Tokyo Metropolitan Government Building*

2-8-1, Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo

Artists

*Takanori Herai, Seiji Murata, Hironobu Matsumoto,
Koichi Yashima, Hideaki Yoshikawa, Takeshi Yoshizawa*

*Organized by Tokyo Metropolitan Government, Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture,
Museum of Contemporary Art, Tokyo (Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery)*

In cooperation with The Nippon Foundation

2018年 **3月19^日** — **3月25^日** 9:30-17:30

都庁南展望室 入場無料 3月20日(火)は休場
新宿区西新宿2-8-1 東京都庁第一本庁舎45階

出展作家: 戸來貴規、松本寛庸、村田清司、八島孝一、吉川秀昭、吉澤健

主催: 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館(東京都渋谷公園通りギャラリー) 特別協力: 日本財団

アートのみはらし

東京都渋谷公園通りギャラリーでは、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団の連携のもと、芸術文化の面からダイバーシティの理解促進に寄与することを目指し、展覧会をはじめとする取組を行っています。今回は、ギャラリーを飛び出し東京都庁 45 階の展望室で 6 名による作品を展示いたします。

本展でご覧いただく作品は、フランスで開催された「アール・ブリュット・ジャポネ」展に参加した作家によるものです。アール・ブリュットとは、画家ジャン・デュビュッフェ（1901~1985）が呼び始めた「生の芸術」という意味の言葉です。だれにも教えられず、また発表するつもりもなく、「職業的芸術界とは無縁の無名の人々の手になる作品」にデュビュッフェは価値を見出しました。そうした創作活動は現在まで徐々に裾野を広げ、つくり手や見る人のスタンス、発表の仕組みなどに違いはあれど、緩やかに重なりながらいくつかの呼び方をされています。

連綿とつくられるそれらの作品が途方もない切実さをもっていることもあれば、思いがけずひょうきんな表情をみせることもあります。暮らしに近いようで、日常を越えた迫力を備えるような、共感と驚きが同時に去来する感覚をひとつの作品に覚えることもあるでしょう。展望室から見える景色とあわせて会場で体感していただければ幸いです。

Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery has opened in cooperation with Tokyo Metropolitan Government and Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture to promote understanding of diversity through art, and organizes projects such as exhibitions. This time, the gallery will jump into an observatory on the 45th floor of Tokyo Metropolitan Government Building and show 6 artists' works.

The works that will be introduced at the exhibition are selected from works shown at Art Brut Japonais held in Paris. Jean Dubuffet, a painter, coined 'Art Brut' (raw art) to describe art neither belonging to art academia nor willing to publish artwork.

Dubuffet valued things created out of tradition of fine art. Having ambiguous relations each other, those kinds of works are called in different ways today depending on stance of artists and viewers, system of publication, and so on.

Works continuously made would give us a glimpse of compelling obsession for creation, while showing their humorous aspects. A certain work may seem to close to every-day life yet have tremendous impacts that derive complex feelings of sympathy and surprise. We hope that you will enjoy the 6 kinds of dynamic views conveyed from their every-day lives with alluring metropolitan landscape from the observatory.

出展作家

1 戸来 貴規 HERAI Takanori

1980年生まれ
四角形が並ぶドローイング風の作品は、作者が綴り続けた日記である。日付や温度、天気、食べたものが独自の文字で書かれている。日記という極私的ななかたちで、施設職員が発見するまで密やかに発揮され続けた独特の感性。

4 吉川 秀昭 YOSHIKAWA Hideaki

1970年生まれ
陶土の表面に走る線は、実は多くの点の密集である。その点が小さな無数の顔なのだから驚きた。微細な顔の集合がときに全体として、ひとつの模様（あるいは顔らしきもの）を描き出す。

2 村田 清司 MURATA Seiji

1952年生まれ
はがき大の明るい色づかいの作品には、顔が多く描かれる。いずれも、朗らかでチャーミングな表情だ。初期には油性ペンを使っていたが、パステルを多用するようになりさらにやわらかい印象が増した。作品は、作家の田島征三氏がこたばを付けて絵本としても出版されている。

5 八島 孝一 YASHIMA Koichi

1963年生まれ
作品の素材になる品々は作者自身が路地で拾ったものだという。ものの組み合わせが詩のような美しさをもつ。それぞれの物品は機能を失って依然、「モノフェチ」なる作者の感性を刺激してならないのだろう。

6 吉澤 健 YOSHIKAWA Takeshi

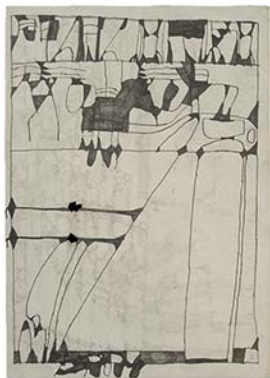
1965年生まれ
雑誌の中間や記事をコラージュして作った自作ノートにびっしりと記されているのは、作者がまちで見かけた企業名や自身の行動である。20年以上続けられたこの習慣は、作者の日常に組み込まれ、生活の一部となっている。

3 松本 寛庸 MATSUMOTO Hironobu

1992年生まれ
何度も反復されるモチーフが心地よいリズムで画面を構成し、それぞれカラフルに色彩を放っている。構図、色彩を楽しむ作者の様子を想像できる描きぶりである。

東京都渋谷公園通りギャラリーについて

ダイバーシティの理解促進を目指して昨年11月に渋谷区神南にオープンした施設です。今後、さまざまな人が表現し、アートを楽しみ、また共に暮らす社会の実現のため、作品展示や交流、情報発信を行っていく予定です。今年4月からは改修工事のため約1年間休館し、平成31年（2019年）度に再オープンします。休館中も都内各地で展覧会、イベント等を予定しておりますのでぜひお越しください。イベント詳細はwebサイトで随時お知らせいたします。http://inclusion-art.jp/



1 戸来 貴規 <日記> 2006



2 村田 清司 <無題> 1988~1991



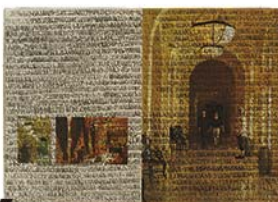
3 松本 寛庸 <乱舞...人> 2008



4 吉川 秀昭 <目・目・鼻・口> 2004



5 八島 孝一 <ヘリコプター> 1999



6 吉澤 健 <無題> 制作年不詳

* 作品全て 所蔵：日本財団 写真：大西暢夫

アクセス 都庁南展望室

〒163-8001 新宿区西新宿 2-8-1 東京都庁第一本庁舎 45 階
「JR 新宿駅」西口から徒歩約 10 分
都営地下鉄大江戸線「都庁前駅」下車
新宿駅西口（地下バスのりば）から都営バス
又は京王バス「都庁循環」「都庁第一本庁舎」下車
第一本庁舎 1 階から展望室専用エレベーターをご利用ください。

South Observation Deck of
Tokyo Metropolitan Government Building
2-8-1, Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo, 163-8001

8-minute walk from West Exit of Shinjuku Sta. (JR)
3-minute walk from Tochomae Sta. (Toei Oedo Line)
Tocho-Daichi-Honchoshu (TMC Building No.1)
bus stop from Shinjuku Sta. Nishiguchi (West Exit)
bus stop (CH01/Toei Bus or Keio Bus)
Take the elevator at TMC Building No.1.